

第7回 ボランティア養成講座

震災時に障害のある子ども達を守るには…③

東日本大震災から2年。今、防災対策はどうなっている！現状は？課題は？

東日本大震災以降、防災への意識は高まり自治体、企業、学校、地域住民、それぞれが防災計画を立て、防災訓練等を実施しています。本講座では、知的障害のある子ども達を中心に障害者に対する地域、学校、家庭等の防災への取り組みや課題を紹介し、そして、課題を解消するための地域や個人の取り組みのあり方について参加者で考えます。なお、調布特別支援学校で震災時に必要とする支援も紹介しますので、防災ボランティアとしての活躍のチャンスも得られます。

【日時】平成25年7月20日(土)13:30~16:00

【会場】電気通信大学 C棟1階103教室

東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
(京王線調布駅中央口より徒歩5分(甲州街道側))

【講師】都立調布特別支援学校 教員、保護者、
調布市役所の方、他
(司会)電気通信大学 准教授 水戸和幸

【対象者】学生および一般(高校生以上)

【定員】100名
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

【受講料】無料

【お申込・問合せ先】電気通信大学 研究協力課
(メール、電話、Web のいずれかでお申込み下さい)

E-mail : kenkyo-k@office.uec.ac.jp
(氏名、住所、年齢、電話番号を明記下さい)

電話: 042-443-5138 (土・日・祝日を除く)

Web: <http://www.ccr.uec.ac.jp/activity/kouza/index.html>

【主催】国立大学法人 電気通信大学

【共催】東京都立調布特別支援学校、
調布特別支援学校リソース・ネット
<http://www.human.inf.uec.ac.jp/resourcenet/>

※ 電気通信大学と東京都立調布特別支援学校は、
平成21年に教育連携協定を締結しています



昨年の公開講座および調布特別支援学校・総合防災訓練の様子
(総合防災訓練では、多くの防災ボランティアにご協力頂きました)